

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 音楽 科目 演奏研究

教 科：音楽 科 目：演奏研究 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 4 組

使用教科書：（なし）

教科 音楽

の目標：

【知識及び技能】音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に付けるようにする。

音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈したり音楽の文化的価値など【思考力、判断力、表現力等】について考えたりし、表現意図を明確にもったり、音楽や演奏の価値を見いだして鑑賞したりすることができるようにする。

主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、音楽文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

科目 演奏研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。	音楽作品を尊重して演奏したり観賞したりする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	楽曲分析と演奏方法の理解① 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	自然倍音について学ぶ。 J.Sバッハ「平均律クラヴィーア曲集」の比較鑑賞を通して、奏法の特徴を研究する。 古楽器アンサンブルの比較鑑賞を通して、作曲当時の演奏様式を研究する。	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	○	○	○	6
	楽曲分析と演奏方法の理解② 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	W.A. モーツァルト「ピアノ協奏曲」の比較鑑賞を通して、作曲当時の様式を研究する。 W.A. モーツァルトの歌曲作品に関する問題演習を通して、非和声音の取り扱いや特徴的な和声進行の効果について考える。	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	○	○	○	10
	前期音楽科目テスト			○	○		1
後期	楽曲分析と演奏方法の理解③ 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	楽曲作品や演奏に関する論文を読み、解釈の多様性について学び、自分なりの解釈の方法を考える。 ラヴェルの管弦楽編曲作品を用いて、各楽器の音色の特徴について研究する。	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	○	○	○	11
	楽曲分析と演奏方法の理解④ 【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づける。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	様々な変奏曲作品の楽曲分析と観賞を通して、それぞれの変奏の特徴と効果的な演奏方法について考察する。	【知識及び技能】 楽譜に基づいて演奏者がどのような解釈をしたのか、また、楽曲が生まれた時代や地域などによって特徴が異なる音楽の様式を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を結び付けて考え、自分や他社の演奏が音楽の様式を踏まえた演奏であるかを考え、表現する一連の過程を位置づけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表現上の特徴を踏まえて作品を解釈し、様式等に即した演奏を追究しようとする。	○	○	○	7
	後期音楽科目テスト			○	○		合計
				○	○		35